

2022（令和4）年7月8日

ワクチンに関する死亡報告一覧

2022年6月17日現在

期間	No.	ワクチン (製造販売業者/ロット)	年齢・性別 基礎疾患等	接種日 経過	報告医評価	調査の結果	死亡症例として 報告を受けた日付 合同部会評価
報告対象期間前	1	ロタリックス (GSK/RT018) アクトヒブ (サノフィ/ T1D17) プレベナー13 (ファイザー/ EJ4512) ビームゲン (KM バイオロジク ス/Y117M)	2カ月(接種時)・ 男 調査中	2021年11月9日接種 接種翌日、死亡した。	調査中	調査中	2021年12月8日 2022年1月21日 合同部会(報告) 2022年4月13日 合同部会(報告) 2022年7月8日合 同部会(報告)

報告対象期間内	2	ジェービック V (阪大微研/ JR504)	3歳(発症時)・男 アトピー性皮膚 炎、コナヒョウダ ニアレルギー、卵 アレルギー	2022年1月13日接種 接種当日、夕食後に嘔吐し た。嘔吐により体が汚れたた め一人で入浴し、家族により 浴槽に浮いているところを 発見された。その後、死亡が 確認された。剖検の結果、死 因は嘔吐物による窒息とさ れた。	評価不能	剖検の結果、死因 は嘔吐物による窒 息とされた。 ワクチン接種が嘔 吐の原因になった とする直接的な証 拠は無く、嘔吐に 対し適切な対応が 行われていれば窒 息による死亡は防 げたとと思われるこ とから、その他の 要因が考えられワ クチン接種との因 果関係は認められ ない。 因果関係:β	2022年1月27日 2022年4月13日 合同部会(報告) 2022年7月8日合 同部会(評価)
報告対象期間内	3	インフルエンザ HA ワクチン「ビケン」 (阪大微研/ HA208A)	70歳(発症時)・女 橋本病、不眠症、 高脂血症、胆管 炎、II型糖尿病、 内頸動脈狭窄症、 冠動脈バイパス 術、虚血性心疾患	2021年10月9日接種 接種18日後、両上下肢に点状 出血が認められ受診した。血 小板数の低下が著しかった ため入院し、特発性血小板減 少性紫斑病の急性期と判断 された。接種21日後、嘔吐及 び意識レベルの低下が認め られ、頭部CT検査にて右脳 内出血が認められた。ステロ イド療法が実施されるも改	関連あり	情報不足のため、 ワクチン接種との 因果関係は評価で きない。 因果関係評価:γ	2021年11月4日 2022年4月13日 合同部会(評価)

					善なく、同日、死亡が確認された。死因は血小板減少による脳出血とされた。死亡時画像診断及び剖検は実施されなかった。			
報告対象期間内	4	インフルエンザHAワクチン (不明/不明)	成人(発症時)・女 不明	2021年11月6日接種(家族からの情報) 接種翌日、体調の悪化がみられたが自宅で待機した。接種2日後、体調がさらに悪化したため受診した。接種12日後に死亡した。	入手不可	情報不足のため、ワクチン接種との因果関係は評価できない。 因果関係評価:γ	2021年12月14日 2022年4月13日 合同部会(評価)	

報告対象期間内	5	インフルエンザHAワクチン*デンカ(デンカ/674-B)	81歳(接種時)・男 高血圧、糖尿病、高尿酸血症、骨粗鬆症	2021年10月23日接種 接種15日後、倦怠感及びめまいが発現した。夜から息切れが認められた。接種16日後、黒色便が認められた。四肢には皮下出血が認められた。鮮血便が認められたため救急搬送され、入院となった。腹部コンピューター断層撮影検査(CT)では胃壁の肥厚及び一部薄い部分が認められた。回腸末端に強い炎症が認められ、腹膜炎と診断された。動脈硬化が疑われた。胸部CTでは肺気腫が認められた。また両肺にすりガラス影が認められ、間質性肺炎と診断された。接種17日後、採血で貧血が進行していることが確認された。下血も認められ、血小板数低下によるものと疑われた。血小板数低下の原因として播種性血管内凝固症候群の可能性があった。接種20日後、呼吸状態が悪化し、徐々に意識レベルが低下した。接種24日後、死亡が確認された。死亡時画像診断及	評価不能	情報不足のため、ワクチン接種との因果関係は評価できない。 因果関係評価：γ	2021年12月15日 2022年4月13日 合同部会(評価)
---------	---	------------------------------	----------------------------------	--	------	--	---------------------------------------

					び剖検は実施されなかった。			
報告対象期間内	6	インフルエンザHAワクチン (不明/不明)	98歳(接種時)・女 慢性腎臓病、便秘、 狭心症	2021年10月26日接種 接種11日後から嘔吐を繰り返すようになった。接種28日後、黒色の嘔吐が認められた。接種29日後、黒色の嘔吐及びタール便が認められた。胃瘻部からも黒色の液が排出されていたため、上部消化管出血の治療目的で入院した。その後、Hb値が低下した。接種34日後にHb値は改善した。呼吸状態含め、その後の状態は悪くなかった。接種40日後、突然、心肺停止となり、死亡が確認された。死亡時画像診断が実施され、コンピューター断層撮影検査の結果、両肺のすりガラス陰影及び	評価不能	情報不足のため、ワクチン接種との因果関係は評価できない。 因果関係評価：γ	2021年12月15日 2022年4月13日 合同部会(評価)	

					浸潤影が認められた。精査の結果、死因は肺水腫及び急性呼吸窮迫症候群と考えられた。剖検は実施されなかった。			
報告対象期間内	7	インフルエンザHAワクチン「KMB」 (KMバイオロジクス/484A)	80歳(発症時)・男 骨粗鬆症、高血圧症、肺気腫、前立腺肥大症、両足関節痛、両下肢痛、第3腰椎圧迫骨折、第2腰椎圧迫骨折、第4腰椎圧迫骨折、第12胸椎圧迫骨折、便秘症、腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後	2021年11月10日接種 接種当日、足関節痛により、立位姿勢が取れなくなった。接種翌日、両側下肢の関節痛により受診し、右臀部から大腿部にかけて疼痛が強くなり起き上がることが困難なため入院した。血液検査により血栓症が疑われた。接種2日後、エコー検査が実施され、左大腿静脈に血栓が認められた。接種8日後、急性循環不全となり、死亡が確認された。死因は不明であった。死亡時画像診断及び剖検は実施されなかった。	評価不能	死因の詳細は不明である。ワクチン接種との因果関係は不明である。 因果関係評価：γ	2021年12月28日 2022年4月13日 合同部会(評価)	

報告対象期間内	8	インフルエンザ HA ワクチン (不明/不明)	79 歳 (発症時)・男 腎機能障害、アルコール性肝硬変、肝硬変	2021年11月 (接種日不明) 接種後、肝不全及び腎不全が発現した。 肝不全及び腎不全の発現6日後、肝萎縮、急激な腎機能低下及び基礎疾患の再発が認められ、入院した。食欲不振、倦怠感、眼球黄染及び皮膚黄染が認められた。 入院から10日後、食事摂取及び内服が困難となり、絶食及び内服中止となった。徐々に意識レベル低下が認められた。 入院から12日後、下顎呼吸及び利尿不良が認められた。その後、死亡が確認された。死因は、肝不全及び腎不全とされた。	入手不可	情報不足のため、ワクチン接種との因果関係は評価できない。 因果関係評価：γ	2021 年 12 月 15 日 2022 年 4 月 13 日 合同部会 (評価)
---------	---	----------------------------	-------------------------------------	---	------	--	--

	報告対象期間内	9	インフルエンザ HA ワクチン (第一三共/YHA029B)	73 歳 (発症時)・女 高血圧、逆流性食道炎	2021年11月6日接種 接種翌日、頭痛、胸やけ、嘔気及び食欲低下が出現した。接種3日後、意識障害及び構音障害が出現し、救急要請され入院した。同日容体が悪化し別の病院に搬送された。血栓性血小板減少性紫斑病と診断され、血漿交換療法、ステロイドパルス療法、リツキシマブ投与が行われた。接種12日後、死亡が確認された。剖検は実施されなかった。	関連あり	情報不足のため、ワクチン接種との因果関係は評価できない。 因果関係評価：γ	2022年1月21日 2022年4月13日 合同部会 (評価)
前シーズンワクチン	報告対象期間内	10	インフルエンザ HA ワクチン (不明/不明)	84 歳 (発症時)・男 細気管支炎、膵癌、膀胱癌	2020年接種 (家族からの情報) 接種後、体調が悪化した (日時不明)。転倒の際に頭部を打ち、失禁を繰り返した。同年、ヘモグロビンが基準値の半分程度となり、血尿が発現した。接種翌年、片麻痺が出現したが、脳梗塞は否定された。その後、意識不明の状態 で搬送された。後日、低血糖により死亡した。	入手不可	情報不足のため、ワクチン接種との因果関係は評価できない。 因果関係評価：γ	2021年12月22日 2022年4月13日 合同部会 (評価)

	報告対象期間後	11	シングリックス (GSK/不明)	83歳(発症時)・ 女 調査中	2022年4月4日接種 接種12日後、死亡した。	調査中	調査中	2022年4月27日 2022年7月8日 合同部会(報告)
--	---------	----	---------------------	-----------------------	-----------------------------	-----	-----	-------------------------------------

※専門家の因果関係評価

α:「ワクチンと症状名との因果関係が否定できないもの」

原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となったことが否定できない症例。

β:「ワクチンと症状名との因果関係が認められないもの」

原疾患との関係、薬理学的な観点や時間的な経過などの要素を勘案し、医学・薬学的観点から総合的に判断し、ワクチン接種が、事象発現の原因となったとは認められない症例。

γ:「情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できないもの」

情報が十分でない、使用目的又は方法が適正でない等のためワクチン接種と事象発現との因果関係の評価ができない症例。